

一橋だより



令和7年7月 日 ()
小平市立小平第四中学校(拠点校)
特別支援教室 一橋
NO. 4

～ 今後の予定 ～

夏の陽射しが日ごとに強まる中、1学期も残すところわずかとなりました。

1学期の指導は、7月11日(金)で終了します。指導へのご理解とご協力ありがとうございました。
2学期もよろしくお願いたします。今後の予定をお知らせします。

7月11日(金) 一橋教室の指導終了
7月18日(金) 終業式
9月 1日(月) 始業式
9月 3日(水) 一橋の指導開始

また、保護者様と一橋の二者面談も行っております。各校巡回教員からのお知らせもご確認ください。

～ 気持ちや考えを表出する ～

新クラスになり初めての学校行事、運動会が5月下旬、6月上旬に各校で開催されました。運動会後の作文課題に対して「何をどう書いたらいいかわからない」と不安を感じる生徒がいます。その場合まず、書くための自己分析を行います。その後、「時系列に振り返る」「その時の感情を思い出す」「感じたことを言語化する」練習をして作文を書きました。

その際活用したのが、「気持ちの絵カード」です。「この中で一番近い気持ちは？」と問いかけ、「嬉しい」であれば「100%中、何%？」と続けます。問いかけを繰り返すことで、だんだんと「悔しかったけど、満足」と自分の言葉で気持ちを表すことが増えていきました。

気持ちの表出ができるようになってくると、嬉しかったことも不満だったことも伝えやすくなり、他者とのコミュニケーション能力向上につながります。また、自分の気持ちを伝えられることで、その先にある不安を乗り越えるための手がかりが見つけやすくなります。3年生になると取り組む自己分析にも応用できます。一橋ではこのような取り組みを通して、前向きな生活を送れるように支援しています。



～ 教材紹介 ～

大人になるにつれて、「自分で説明する」機会が増えていきます。うまく話せるようになりたい、説明力を伸ばしたいという生徒には、「カタカナーシ」というカードゲームを教材として使用しています。

カタカナーシは、カタカナ語のお題をカタカナを使わずに説明し、みんなに当ててもらうゲームです。説明者は、「～です。」と言い切ることや、知っている言葉を使ってヒントを出すことを意識します。解答者は、ヒントを最後まで聞く、与えられたヒントから言葉を連想することを意識します。繰り返し取り組むことで説明力がつき、自信がついたり、相手が伝えたいことを想像しやすくなったりします。



【例】何というカタカナ語を指しているのでしょうか。

ヒント① 車や電車など乗り物に付いています。・乗り物を動かすために必要なものです。

ヒント② 乗り物を動かすときは「～をかける」、止める時は「～を切る」、というように使います。

☆答えは裏面最後に書いてあります。

～ 「進路」を考える夏に ～

各学校で、中学3年生と保護者向けに進路説明会が行われました。進路先の選択肢は膨大でお子さん一人一人に合う場所は異なります。ぜひ、この長期休業期間にご家庭でもお子さんの「好き」や「得意」を確認し、前向きな気持ちになれる進路選択について考えてみてください。

今回は、様々なタイプの高校から、課程と校種を抜粋して特色を紹介します。

課程	特色
全日制	平日の昼間(朝から午後までの日中)に授業を受ける。
定時制	夜間、その他特定の時間帯に授業を受ける。(午前部、午後部などもある)
通信制	自宅学習をしながら、レポート等の添削指導を受け、試験等を通じて単位を取得する。
校種	特色
総合学科高校	多様な科目を開設して、普通教育と専門教育を総合的に行う学校で、個々の能力・適性等に対応した柔軟な教育を行う。
単位制高校	学年の区別がなく、3年間(または4年間)の中で決められた単位数を習得できれば卒業できる。[1] 個性や特性、進路希望に対応した特色型 [2] 進学重視型 [3] 専門高校型 がある。
科学技術高校	先端的な科学技術を学び、理工系や薬学系の大学への進学を目指す専門高校。
昼夜間定時制高校 (単位制)	単位制で昼夜開講多部制の高校である。様々な進路希望に対応した多様で弾力的な教育を行っており、4年間かけて学ぶことを基本するが、単位取得により3年での卒業も可能である。
チャレンジスクール (定時制・総合学科)	小・中学校時代に不登校経験をもつ生徒や長期欠席等が原因で高校を中途退学した者等を主に受け入れる総合学科・三部制(午前部・午後部・夜間部)の高校で、他部履修により3年間での卒業も可能とする。1日4時間ずつ、4年間かけて学ぶことを基本とする。学力調査や調査書によらない入学者選抜を行う。
エンカレッジスクール	小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て頑張りを励まし、応援する学校として、社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身に付けることを目的としている。基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視する。学力調査によらない入学者選抜を行う。

※東京都教育委員会資料より

【連絡先】拠点校

小平市立小平第四中学校 特別支援教室 一橋

TEL 042-346-3286 (直通)

Mail hitotsubashi@34.kodaira.ed.jp



カタカナナーシの答え：エンジン